

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

11. 消化管、肝胆膵の疾患

文献

岡林孝弘, 田中紀章, 折田薫三. 閉塞性黄疸減黄処置後減黄率に及ぼす漢方製剤茵陳蒿湯の効果. *日本臨床外科学会雑誌* 1998; 59: 2495-500. 医中誌 Web ID: 1999080276, [J-STAGE](#)

1. 目的

閉塞性黄疸減黄術後の患者に対する、茵陳蒿湯の減黄促進作用を評価する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (封筒法) (RCT-envelope)

3. セッティング

岡山大学医学部第 1 外科および関連病院 14 施設

4. 参加者

閉塞性黄疸患者で、経皮経胆管ドレナージ (PTCD) などの減黄処置を行った 24 名 ((1) 15 歳未満、80 歳以上 (2) 経口摂取不可能 (3) 重篤な肝硬変や合併症を有する (4) その他主治医が不相当と判断したものは除外)

5. 介入

Arm 1: ドレナージ+ツムラ茵陳蒿湯エキス顆粒 7.5g 分 3、11 名 (うち解析対象 10 名。脱落理由記載なし)

Arm 2: ドレナージ単独群、13 名

6. 主なアウトカム評価項目

総ビリルビン値、直接ビリルビン値、1 日胆汁量を計測、清水らの計算式に基づく減黄率にて比較検討。食欲不振、全身倦怠感の推移については 4 段階評価で比較検討。

7. 主な結果

茵陳蒿湯併用群において減黄率が有意に高かった。AST, ALT, ALP, γ -GTP は両群共に改善を示し茵陳蒿湯併用群がより良好ではあったが、両群間に有意差を認めなかった。食欲不振については、ドレナージ開始初期に茵陳蒿湯併用群が有意に改善したが、2 週間目以降はドレナージ単独群においても自覚症状が改善してくるため有意差を認めなかった。

8. 結論

茵陳蒿湯には減黄促進効果を認め、自覚症状の改善効果も認められるため、減黄処置後閉塞性黄疸に対して有効である。

9. 漢方的考察

生薬学的側面からの考察として、茵陳蒿に含まれる 6,7-demethyl-esculetin, capillarisin 及び山梔子に含まれる geniposide の利胆作用について言及している。

10. 論文中の安全性評価

有害事象は認められなかった。

11. Abstractor のコメント

本論文では茵陳蒿湯の減黄作用について論じられている。ビリルビン値の比較においては茵陳蒿湯による減黄作用の強化はわずかであるが、それにより Grade3 (減黄比較的不良群) が無くなるという事実は重要であると考えられる。作用機序も含め、さらなる報告を待ちたい。

12. Abstractor and date

中田英之 2009.1.1, 2010.1.6, 2010.6.1, 2013.12.31